



天文台だより

銀河の森天文台
2018 冬号
Vol. 78

11/11、驚き！おもしろ科学実験2017を開催！



安藤良美さんによるミニ講演会の様子

「驚き！おもしろ科学実験2017」を11月11日(土)に開催しました。今年も名古屋大学、北海道大学、北見工業大学、足寄動物化石博物館の実験コーナーが並び、鉱物・化石掘りやアイスクリーム・スライム作りなど、小さなお子様から楽しめる実験が多数でした。

ミニ講演会では、NHK「コズミックフロント」の番組制作などで活躍されているイー・ディメンション代表の安藤良美氏をお招きし、「映像で伝えられること～宇宙番組の制作現場から～」と題して、番組の企画から制作にかかわる心構えや経験談をお話していただきました。

今年で6回目を迎えたおもしろ科学実験ですが、昼間開催する子供向けのイベントとして大変好評でした。今年も子供達や家族連れでの参加が多く、参加者も100名を超え、賑わいのあるイベントとなりました。

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

いよいよ1月上旬、待望の私の新著が出ます。全ページカラー刷りという豪華版で、題して、「太陽のきほん」。マンガキャラクターのガイドにより、小学校低学年でも読めるよう工夫がされています。子供向けの本は久しく書いていなかったのが、出来上がるのが楽しみです。



(上出洋介館長)

大人の方も一緒に読める、まさに家庭向けの1冊です。出版社は、月刊の「天文ガイド」、「子供の科学」でお馴染みの誠文堂新光社。本体1500円+税。

太陽系の親玉、地球生命の生みの親である太陽について、いくつものアングルから迫ってみたいと思い、書き始めました。太陽は、日常生活のいろいろな場面に現れます。例えば、カレンダー、季節の移り変わり、二十四節気などは、地球の公転軌道と赤道面のちょっとしたズレから生じること、神様としての太陽の変遷はもとより、太陽の宇宙での立場や太陽の寿命についても考えてみましょう。太陽の黒点、磁場逆転、コロナの温度に関する世紀のパラドックスにもタッチします。

10/28、北海道星見人の会2017を開催！

10月28日(土)、北海道の星好きな方々が集まり「北海道星見人の会 2017」が開催され、150人を超える入館者がありました。会に合わせて、陸別町から第53次



講演会で南極のお話をする空井猛壽さん

南極地域観測隊員として南極に行った空井猛壽氏の講演会「SORAの南極記」が開催され、南極での生活や仕事の苦労話など興味あるお話を聞くことができました。

「オーロラウィーク2018」

1/31～2/11、オーロラ生中継開催！

2018年1月31日(水)～2月11日(日)の期間、カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継を今年も開催します。「オーロラウィーク2018」では、現地で撮影されているオーロラの全天画像をリアルタイムで受け、天文台のプラネタリウムドームに投影します。

イエローナイフとの時差は、-16時間で、ちょうど天文台開館時間帯が現地の夜になります。現地が晴れていれば、高確率でオーロラが出現しています。

期間中、上出館長やスタッフによるオーロラ予報やオーロラ検定(初級・中級・上級)も開催します。

開催日時: 1月31日(水)～2月11日(日)

中継: 午後2時～8時まで(投影時間: 1回15分程度)

※ 現地の天候や観測状況により中継時間が変わることがあります。

協力: The AuroraMAX Observatory at Yellowknife, NWT, Canada is operated by The University of Calgary, The Canadian Space Agency, and Astronomy North.

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
1月 1日	6:54	16:03	13.9	15:16	5:30
1月 15日	6:51	16:18	27.9	5:06	14:49
2月 1日	6:38	16:40	15.0	17:25	7:03
2月 15日	6:20	16:58	29.0	5:58	16:17
3月 1日	5:59	17:17	13.2	16:12	5:35
3月 15日	5:35	17:34	27.2	4:32	15:06

天文行事&暦

1月

- 12/30-1/5 天文台休館日
- 2 水星が西方最大離角
(光度:-0.3等, 離角:22.7°)
○満月
- 4 しぶんぎ座流星群が極大
(AM5時 最大30個/時)
- 5 小寒(24節気:太陽黄経285°)
- 17 ●新月
- 20 大寒(24節気:太陽黄経300°)
- 31 皆既月食観望会
○満月
皆既月食
(食始20:48、皆既始21:51、食最大22:30、皆既終23:08、食終0:11)
- 31-2/11 オーロラウィーク2018

2月

- 1/31-2/11 オーロラウィーク2018
- 4 立春(24節気:太陽黄経315°)
- 16 ●新月
- 19 雨水(24節気:太陽黄経330°)

3月

- 2 ○満月
- 6 啓蟄(24節気:太陽黄経345°)
- 16 水星が東方最大離角
(光度:-0.2等, 離角:18.4°)
- 17 ●新月
- 21 春分(24節気:太陽黄経0°)
- 31 ○満月

☆皆既月食観望会

2015年4月4日以来、3年ぶりに皆既月食が見られません。遅い時間の月食ですが、皆既終了後の23時30分まで開館時間を延長し、月が欠けていく様子や皆既中の月の色など、双眼鏡や望遠鏡で観察します。

開催日時: 1月31日(水):(食始20:48、皆既始21:51、食最大22:30、皆既終23:08、食終0:11)

説明会: 午後8時~

※ 悪天候の場合は、通常通り21時30分に閉館します

冬のイベント情報!!

☆2017年度銀河の森天文台写真展

銀河の森天文台で撮影した最近1年の写真を展示します。合わせて、皆様が最近1年で撮影された天体写真を公募し展示します。詳しい応募方法は天文台HPをご覧ください。

募集期間: 1月6日(土)~2月28日(水)

展示期間: 3月9日(金)~25日(日)

2018年太陽系天体みどころカレンダー

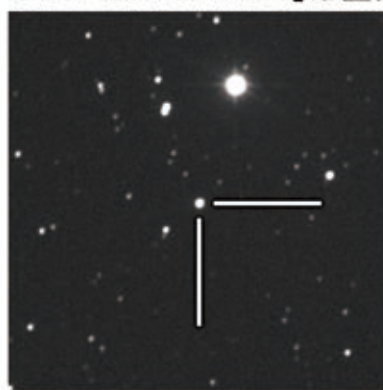
★黒線期間が見頃の時期、点線期間は短時間ですが見える時期になります ○:満月 ●:新月

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
太陽	○23 ●17	○なし ●16	○23 ●17	○30 ●16	○29 ●15	○28 ●14	○28 ●13	○26 ●11	○25 ●9	○25 ●8	○23 ●7	○23 ●7
水星												
金星												
火星												
木星												
土星												
天王星												
海王星												

毎年大人気の太陽系天体たちが、天文台開館中に見頃となる時期をカレンダーにまとめました。2018年は、ほぼ3年ぶりに皆既月食(1/31)が見られるほか、火星も大接近(7/31)するなど、とワクワクする天文イベントが目白押しです!望遠鏡で、肉眼で、今年もたくさん空を見上げましょう。みなさまのご来館をお待ちしています!

ペッコカめぐり「重カレンズ効果天体が見えた!」

2017年のノーベル物理学賞は重力波の観測に関するものでした。重力波は重力が時空を歪めたその歪みの波ですが、同じように重力が時空を歪める事で起こる現象に重力レンズがあります。これは重力が時空を歪める事により光が曲がる現象で、観測天体、重力レンズ天体、観測者が一直線に並ぶ場合に起こります。11月に発見された天体「TCP J05074264+2447555」は重力マイクロレンズ現象に



より明るくなった天体が観測されたもので、りくり望遠鏡で見ることのできる程に明るくなりました。銀河の森天文台では、このような今しか見ることのできない天体も観望しています。(中島)

天文台からのお知らせ

☆ 12月30日(土)~1月5日(金)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp